



「第6回 (仮称) マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議」の報告

平成29年2月21日、豊島区役所1階・としまセンタースクエアにおいて、第6回 (仮称) マンガの聖地としまミュージアム整備検討会議が開催されました。里中満智子座長をはじめとした委員、高野区長、オブザーバーの計25名が参加しました。

■(仮称) マンガの聖地としまミュージアム整備基本計画 (素案) について

事務局より、前回の検討会議での意見を踏まえて修正した (仮称) マンガの聖地としまミュージアム整備基本計画 (素案) を説明したうえで、各委員による意見交換を行いました。

(仮称) マンガの聖地としまミュージアム整備基本計画 (素案) パブリックコメントの実施について

パブリックコメント制度に基づき、区民の皆様の意見をお聴きします。

■実施期間 平成29年3月1日～3月31日

■閲覧方法 7階文化観光課、4階行政情報コーナー、トキワ荘通りお休み処、中央図書館及び地域館7館、東西区民事務所、豊島区ホームページ

■提出方法 便せんなどに①ご意見②氏名③郵便番号・住所を記入し、3月31日 (必着) までに「文化観光課観光交流グループ」宛へ、郵送、ファクス、Eメールのいずれかでご提出ください。

(仮称) マンガの聖地としまミュージアム整備基本計画 (素案) 抜粋

※詳細は、上記「閲覧方法」にもとづき、「(仮称) マンガの聖地としまミュージアム整備基本計画 (素案)」をご参照ください。

基本理念

第1章-2 事業の基本的な考え方

マンガの聖地としまの象徴として、

地域へ、世界へ、マンガ・アニメ文化を発信します

トキワ荘は、現代マンガの巨匠が住み集い、若き青春の日々を過ごした伝説のアパートです。トキワ荘という場の持つ意義や文化的価値を再評価するとともに、現在の人々に当時の想いやエネルギーを伝えることにより、マンガ・アニメを核とする地域文化の継承・発展を目指します。

基本方針

第1章-2 事業の基本的な考え方

- ①トキワ荘をテーマに、アミューズメント性を重視した事業活動を展開します。
- ②現地を訪れる国内外の来訪者に対して、マンガ・アニメ文化を発信します。
- ③マンガ・アニメによるまちづくりを進める南長崎の拠点施設として、地域と一体となった活動を展開します。
- ④マンガの原点であるトキワ荘をスタートに、現代のアニメにつながる豊島区全体の回遊を促進します。

展開する事業活動

第2章-1 展開する事業活動

- ①調査・研究事業：トキワ荘の文化的価値、意義を明らかにする
- ②情報発信事業：マンガ・アニメ文化や「マンガの聖地としま」を世界に向け発信
- ③展示公開事業：トキワ荘の文化的価値や意義を発信、幅広いテーマの展示等
- ④教育普及事業：マンガ・アニメ文化に関わるイベントや教室、講座等
- ⑤資料収集・保存事業：トキワ荘ゆかりのマンガ家に関わる資料等
- ⑥回遊促進事業：南長崎地域全域での回遊やおもてなしの仕組み等
- ⑦利用者サービス事業：飲食・休憩、ミュージアムショップ、マンガ閲覧

整備予定地の概要

第4章-1 整備予定地の概要

- ①所在地 豊島区南長崎3-9-22 南長崎花咲公園
- ②敷地面積 2,196.6 m² (公園全体)

施設整備

第4章-2 施設整備の基本的な考え方、3 諸室概要 (案)

■基本的な考え方

- ①トキワ荘の外観再現による「マンガの聖地としま」のランドマーク
- ②公園と調和し、地域の人々に親しまれる憩いの場
- ③多様な来訪者を迎え入れ、みんなが快適に過ごせる空間
- ④トキワ荘ゆかりの資料等を安全に展示・公開できる機能
- ⑤限られた空間を有効に利用できるよう、複数の機能を兼ねる施設づくり

■整備する諸室の概要

- ・玄関・階段・廊下・マンガ家の居室 (8室)・炊事場・便所を復元し、トキワ荘を訪れる感動を追体験できるよう、できる限りリアルな再現を行います。
- ・常設展示室・企画展示室を設け、トキワ荘の文化的価値や意義、トキワ荘にマンガ家が集った時代の雰囲気伝える展示、幅広いテーマの企画展等を開催します。
- ・情報コーナー、トイレ、物販、飲食・休憩スペースを備え、マンガの聖地としまを回遊する拠点となります。

整備スケジュール

第6章-1 整備スケジュール

平成29年度	設計 (建築・展示)
平成30～31年度	建設工事、開館準備
平成32年3月	開館予定